

事前評価調書

I 事業概要																																																	
事業名	道路事業（道路改良事業）																																																
地区名	一般県道 豊川蒲郡線																																																
事業箇所	豊川市御津町金野地内																																																
事業のあらまし	<p>一般県道豊川蒲郡線は豊川市御油町を起点とし、御津町を経て蒲郡市蒲郡町に至る総延長約12kmの一般県道で、将来的に名豊道路蒲郡バイパス（仮称）金野 I.C のアクセス道路となる重要な路線である。</p> <p>事業区間は通学路として指定されているものの歩道がなく、車道部も幅員狭小で自動車のすれ違いも困難な状況なうえ、周辺幹線道路の慢性的な渋滞を回避する迂回車両の流入などにより、交通の円滑化及び歩行者の安全性が確保できていない状況である。</p> <p>また、名豊道路供用後には、当該地域における更なる交通量の増加も予想されることから、周辺道路も含めた地域全体の交通の円滑化および歩行者の安全性向上を図るため、バイパス道路及び現道拡幅を整備するものである。</p>																																																
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 交通安全対策の推進（安全な歩行空間の確保）</p> <p>② モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備（名豊道路との連携強化）</p>																																																
事業費	事業費		内訳																																														
	8.0 億円		□工事費 2.6 億円、□用補費 4.3 億円、□その他 1.1 億円																																														
事業期間	採択予定年度	平成 25 年度	着工予定年度	平成 25 年度	完成予定年度	平成 31 年度																																											
事業内容	バイパス整備（L=1.3km、2車線） インター接続道路整備（L=0.2km、2車線） 現道拡幅整備（L=0.6km、2車線）																																																
II 評価																																																	
①事業の必要性	1) 必要性	<p>本路線は通学路に指定されているが、歩道が確保されておらず、道路幅員も狭小であるため安全性が確保されているとは言えない状況にある。</p> <p>また、名豊道路供用後にはアクセス道路としての役割を果たすことから、交通量の増加が見込まれる。</p> <p>以上のことから、バイパス整備及び現道拡幅を整備する必要がある。</p>																																															
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>名豊道路の供用に伴い、交通量の増加が懸念されている。また、現況においても周辺住民の移動の安全性の課題が多く、事業の必要性は高いため</p>																																														
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">6億円</td> <td colspan="2">2億円</td> </tr> </tbody> </table>							H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	工種区分	調査・設計	←	→						用地補償	←			→				工事			←	→				事業費（億円）				6億円			2億円	
			H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31																																								
	工種区分	調査・設計	←	→																																													
用地補償		←			→																																												
工事				←	→																																												
事業費（億円）				6億円			2億円																																										
2) 地元の合意形成	地元からの要望があり、地元との合意形成が図られている。																																																
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p>																																															

	<p>【理由】 円滑な事業執行環境が整っており、計画の実効性が確保されているため</p>
Ⅲ 対応方針	
<p>事業実施が 妥当である</p>	<p>事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。</p>
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】 ・整備による周辺道路の交通の改善状況。</p>	